

## 2.6 最大値・最小値

### (1) 最大値・最小値

導関数を用いて、関数の最大値、最小値を求めてみます。

#### 例1

- (1) 関数  $f(x) = 2x^3 + 3x^2 - 12x$  の区間  $-3 \leq x \leq 3$  における最大値・最小値と、そのときの  $x$  の値を求めよ。
- (2) 関数  $f(x) = x^4 - 4x^3 - 8x^2 + 3$  ( $-2 \leq x \leq 5$ ) の最大値、最小値とそれらをとるときの  $x$  の値を求めよ。

(解説)

(1)  $f(x) = 2x^3 + 3x^2 - 12x$

$$f'(x) = 6x^2 + 6x - 12 = 6(x-1)(x+2)$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき, } x=1, -2$$

$f(x)$  の増減表は下図

$x$	-3	...	-2	...	1	...	3
$f'(x)$		+	0	-	0	+	
$f(x)$	9	↗	20	↘	-7	↗	45

$x=3$  で最大値 45

$x=1$  で最小値 -7

(注)

この例からも分かるように、極大値、極小値は必ずしも最大値、最小値ではない。

(2)  $f(x) = x^4 - 4x^3 - 8x^2 + 3$

$$f'(x) = 4x^3 - 12x^2 - 16x = 4x(x^2 - 3x - 4) = 4x(x+1)(x-4)$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき, } x=0, -1, 4$$

$f(x)$  の増減表は下図

$x$	-2	...	-1	...	0	...	4	...	5
$f'(x)$		-	0	+	0	-	0	+	
$f(x)$	19	↘	0	↗	3	↘	-125	↗	-72

$x=-2$  で最大値 19

$x=4$  で最小値 -125

## 例2

関数  $f(x) = x^3 - 4x^2 + 3x + 1$  の  $-1 \leq x \leq 3$  における最大値、最小値を求めよ。

(解説)

$$f(x) = x^3 - 4x^2 + 3x + 1$$

$$f'(x) = 3x^2 - 8x + 3$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき, } x = \frac{4 \pm \sqrt{7}}{3}$$

$$\alpha = \frac{4 - \sqrt{7}}{3}, \beta = \frac{4 + \sqrt{7}}{3} \text{ とおくと, } \frac{\alpha + \beta}{2} = \frac{4}{3}$$

増減表は下図

$x$	-1	...	$\alpha$	...	$\beta$	...	3
$f'(x)$		+	0	-	0	+	
$f(x)$	-7	↗	極大	↘	極小	↗	1

$y = f(x)$  のグラフは右図

右図の 8 つの長方形の横の長さは  $\frac{\sqrt{7}}{3}$  より

$$\gamma = \frac{4 + 2\sqrt{7}}{3} = \frac{2(2 + \sqrt{7})}{3} > 3$$

$$(\sqrt{7} > \sqrt{6.25} = 2.5)$$

$$\delta = \frac{4 - 2\sqrt{7}}{3} = \frac{2(2 - \sqrt{7})}{3} > -1$$

$$(\sqrt{7} < \sqrt{9} = 3)$$

3次関数の対称性、等間隔性より、 $f(x)$  は  
 $x = \alpha$  のとき最大

$$f(x) = (3x^2 - 8x + 3) \left( \frac{1}{3}x - \frac{4}{9} \right) - \frac{14}{9}x + \frac{7}{3} \text{ より}$$

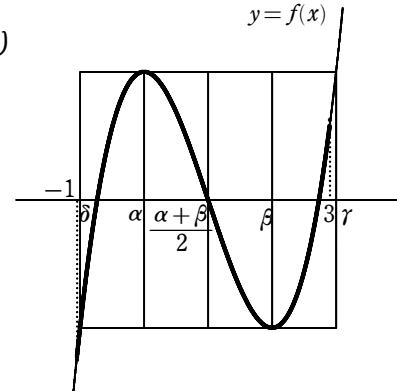
$$\text{最大値 } f(\alpha) = -\frac{14}{9}\alpha + \frac{7}{3} = \frac{7 + 14\sqrt{7}}{27}$$

$x = -1$  のとき最小

$$\text{最小値 } f(-1) = -7$$

注

本問のように、極値をとる  $x$  の値が汚いときはグラフを利用するとよい。



### 例3

$\theta$  の関数  $y = \cos 3\theta - 3\cos 2\theta + 3\cos \theta + 1$  について

- (1)  $x = \cos \theta$  とおいて,  $y$  を  $x$  の式で表せ.
- (2)  $y$  の最大値と最小値を求めよ.

(解説)

$$(1) y = \cos 3\theta - 3\cos 2\theta + 3\cos \theta + 1$$

$$= (4\cos^3 \theta - 3\cos \theta) - 3(2\cos^2 \theta - 1) + 3\cos \theta + 1$$

$$= 4\cos^3 \theta - 6\cos^2 \theta + 4$$

$$= 4x^3 - 6x^2 + 4$$

$$(2) x = \cos \theta \text{ とおくと, } -1 \leq \cos \theta \leq 1 \text{ より } -1 \leq x \leq 1$$

$$f(x) = 4x^3 - 6x^2 + 4 \quad (-1 \leq x \leq 1) \text{ とおく}$$

$$f'(x) = 12x^2 - 12x = 12x(x-1)$$

$f(x)$  の増減表は下図

$x$	-1	...	0	...	1
$f'(x)$		+	0	-	0
$f(x)$	-6	↗	極大 4	↘	2

最大値は 4, 最小値は -6

### 例4

実数  $a$  に対し, 関数  $f(x) = x^3 - 3x$  の  $a \leq x \leq a+1$  における最小値を  $m(a)$  とおく。

- (1) 関数  $y = f(x)$  の極値を求め, そのグラフをかけ。
- (2)  $f(a) = f(a+1)$  を満たす  $a$  の値を求めよ。
- (3)  $a$  の値で場合を分けて,  $m(a)$  を  $a$  の式として表せ。
- (4) 横に  $a$  軸, 縦に  $b$  軸をとり, 平面上に曲線  $b = m(a)$  の概形をかけ。

(解説)

$$(1) f(x) = x^3 - 3x$$

$$f'(x) = 3x^2 - 3 = 3(x+1)(x-1)$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき, } x = -1, 1$$

増減表は右図

$x$	...	-1	...	1	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極大	↗

$x = -1$  のとき極大 極大値 2

$x = 1$  のとき極小 極小値 -2

関数  $y = f(x)$  のグラフは右図

(2)  $f(a) = f(a+1)$  のとき

$$a^3 - 3a = (a+1)^3 - 3(a+1)$$

$$3a^2 + 3a - 2 = 0 \quad \therefore a = \frac{-3 \pm \sqrt{33}}{6}$$

(3) (i)  $a < \frac{-3 - \sqrt{33}}{6}$  のとき

$$m(a) = f(a) = a^3 - 3a$$

(ii)  $\frac{-3 - \sqrt{33}}{6} \leq a$  かつ  $a+1 < 1$ , すなわち  $\frac{-3 - \sqrt{33}}{6} \leq a < 0$  のとき

$$\begin{aligned} m(a) &= f(a+1) = (a+1)^3 - 3(a+1) \\ &= a^3 + 3a^2 - 2 \end{aligned}$$

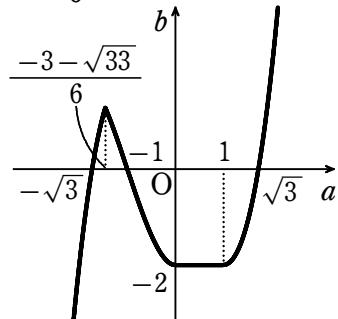
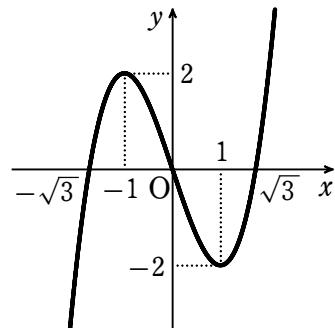
(iii)  $a < 1 \leq a+1$ , すなわち  $0 \leq a < 1$  のとき

$$m(a) = f(1) = -2$$

(iv)  $1 \leq a$  のとき

$$m(a) = f(a) = a^3 - 3a$$

(4) (3)より, 曲線  $b = m(a)$  の概形は右図



### 別解

最小値は, 極小値または端点でとるので, これらの値をグラフ化して, いちばん小さいものを最小としてもよい。ただし, 極小値で最小値をとるときは, 極小値が定義域に入っていなければならないので, 極小値で最小値をとるときには条件が付くことに注意する。

### 例5

3次関数  $f(x) = x^3 - 3a^2x$  がある。ただし,  $a$  は正の定数とする。

(1)  $f(x)$  が  $-2 \leq x \leq 2$  の範囲において極値をとらないような  $a$  の値の範囲を求めよ。また, そのときの  $f(x)$  の最大値と最小値をそれぞれ  $a$  で表せ。

(2)  $f(x)$  が  $-2 \leq x \leq 2$  の範囲において極値をとるとき,  $f(x)$  の最大値と最小値をそれぞれ  $a$  で表せ。

### 解説

$$(1) f(x) = x^3 - 3a^2x$$

$$f'(x) = 3x^2 - 3a^2 = 3(x+a)(x-a)$$

$f'(x) = 0$  のとき,  $x = \pm a$

増減表は右図

$f(x)$  が  $-2 \leq x \leq 2$  の範囲において  
極値をとらないとき

$$-a < -2, 2 < a \quad \therefore 2 < a$$

このとき

$$x = -2 \text{ で最大 最大値 } 6a^2 - 8$$

$$x = 2 \text{ で最小 最小値 } -6a^2 + 8$$

(2)  $f(x)$  が  $-2 \leq x \leq 2$  の範囲において極値をとるとき

$$0 < a \leq 2$$

最大値

$$2a \geq 2 \text{ すなわち } a \geq 1 \text{ のとき } -6a^2 + 8$$

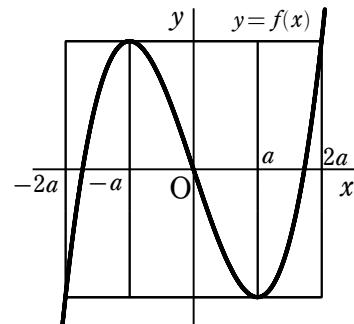
$$a < 1 \text{ のとき } 2a^3$$

最小値

$$a \geq 1 \text{ のとき } 6a^2 - 8$$

$$a < 1 \text{ のとき } -2a^3$$

$x$	...	$-a$	...	$a$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大 $2a^3$	↘	極小 $-2a^3$	↗



### 例6

$f(x) = \frac{1}{3}x^3 - \frac{1}{2}ax^2$  とおく。ただし  $a > 0$  とする。

- (1)  $f(-1) \leq f(3)$  となる  $a$  の範囲を求めよ。
- (2)  $f(x)$  の極小値が  $f(-1)$  以下となる  $a$  の範囲を求めよ。
- (3)  $-1 \leq x \leq 3$  における  $f(x)$  の最小値を  $a$  を用いて表せ。

(解説)

(1)  $f(-1) \leq f(3)$  より

$$-\frac{1}{3} - \frac{1}{2}a \leq 9 - \frac{9}{2}a \quad \therefore a \leq \frac{7}{3}$$

$$a > 0 \text{ より, } 0 < a \leq \frac{7}{3}$$

(2)  $f'(x) = x^2 - ax = x(x - a)$

$f'(x) = 0$  のとき,  $x = 0, a$

$f(x)$  の増減表は右図

$x$	...	0	...	$a$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	0	↘	極小	↗

$x=a$  で極小であるから,  $f(a) \leq f(-1)$  より

$$-\frac{1}{6}a^3 \leq -\frac{1}{3} - \frac{1}{2}a$$

$$(a+1)^2(a-2) \geq 0$$

$a > 0$  であるから  $(a+1)^2 > 0$  より

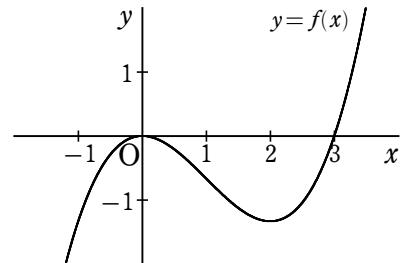
$$a-2 \geq 0 \quad \therefore a \geq 2$$

(3)(1),(2) より

$$0 < a < 2 \text{ のとき } f(-1) = -\frac{1}{3} - \frac{1}{2}a$$

$$2 \leq a \leq 3 \text{ のとき } f(a) = -\frac{1}{6}a^3$$

$$a > 3 \text{ のとき } f(3) = 9 - \frac{9}{2}a$$



### 例7

$k$  を  $0 < k < 1$  である実数とする. 関数  $f(x) = x(x-3k)^2$  の  $0 \leq x \leq 1$  における最大値を求めよ. また, 最大値が  $\frac{1}{2}$  であるとき,  $k$  の値を求めよ.

(解説)

$y = f(x)$  のグラフは右図

$f(x)$  の  $0 \leq x \leq 1$  における最大値は

$$(i) 4k \geq 1, \text{ すなわち } \frac{1}{4} \leq k < 1 \text{ のとき } 4k^3$$

$$(ii) 4k < 1, \text{ すなわち } 0 < k < \frac{1}{4} \text{ のとき } (1-3k)^2$$

最大値が  $\frac{1}{2}$  となるとき,

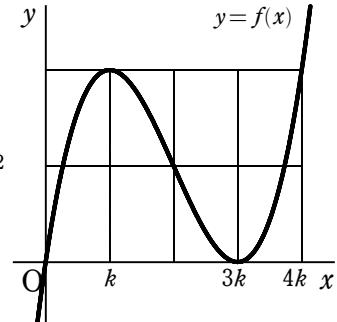
(i) のとき

$$4k^3 = \frac{1}{2} \quad k^3 = \frac{1}{8}$$

$$\frac{1}{4} \leq k < 1 \text{ より, } k = \frac{1}{2}$$

(ii) のとき

$$(1-3k)^2 = \frac{1}{2} \quad 1-3k = \pm \frac{\sqrt{2}}{2} \quad \therefore k = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{6}$$



$$0 < k < \frac{1}{4} \text{ より, } k = \frac{2 - \sqrt{2}}{6}$$

以上より

$$k = \frac{1}{2}, \frac{2 - \sqrt{2}}{6}$$

## (2) 最大値・最小値の応用問題

### 例8

$xy$  平面において、放物線  $y = -x^2 + 6x$  と  $x$  軸で囲まれた図形に含まれ、 $(a, 0)$  と  $(a, -a^2 + 6a)$  を結ぶ線分を 1 辺とする長方形を考える。ただし、 $0 < a < 3$  とする。このような長方形の面積の最大値を  $S(a)$  とする。

(1)  $S(a)$  を  $a$  の式で表せ。

(2)  $S(a)$  の値が最大となる  $a$  を求め、関数  $S(a)$  のグラフをかけ。

(解説)

(1)  $A(a, 0)$ ,  $B(a, -a^2 + 6a)$  とし、面積が最大となるときの長方形を  $ABCD$  とする

このとき、長方形  $ABCD$  は右図のように放物線と直線で囲まれた図形に内接するから

$$C(6-a, -a^2+6a), D(6-a, 0)$$

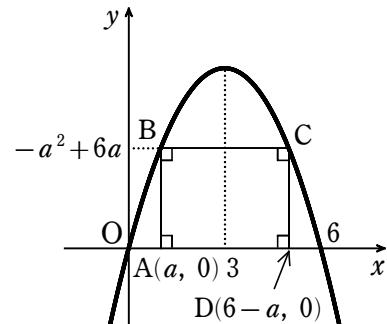
このとき

$$\begin{aligned} S(a) &= AB \times AD \\ &= (-a^2 + 6a)(6 - a - a) \\ &= 2a^3 - 18a^2 + 36a \end{aligned}$$

$$(2) S'(a) = 6a^2 - 36a + 36 = 6(a^2 - 6a + 6)$$

$$S'(a) = 0 \text{ のとき, } a = 3 \pm \sqrt{3}$$

$0 < a < 3$  における増減表は右図



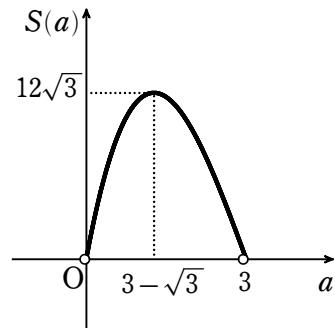
$a$	0	...	$3 - \sqrt{3}$	...	3
$S'(a)$	+		0	-	
$S(a)$	↗		極大	↘	

よって、 $S(a)$  の値が最大となる  $a$  の値は

$$a = 3 - \sqrt{3}$$

$$\begin{aligned} S(3 - \sqrt{3}) &= (3 - \sqrt{3})(3 + \sqrt{3}) \cdot 2\sqrt{3} \\ &= 12\sqrt{3} \end{aligned}$$

$S(a)$  のグラフは右図



### 例9

半径 1 の球に高さ  $h$  の円錐が内接している。

- (1) この円錐の体積  $V$  を  $h$  で表せ。
- (2)  $V$  の最大値とそのときの  $h$  の値を求めよ。

(解説)

(1) 円錐の底面の半径を  $r$  とする

高さ  $h$  の範囲は、 $0 < h < 2$

球の中心から円錐の底面に下ろした垂線の長さは  
 $|h - 1|$  であるから、三平方の定理より

$$r^2 + (h - 1)^2 = 1^2$$

$$r^2 = 1 - (h - 1)^2 = -h^2 + 2h$$

よって

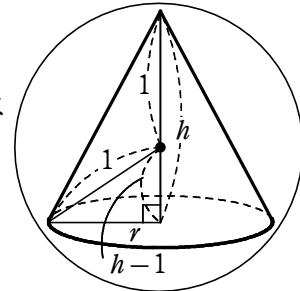
$$\begin{aligned} V &= \frac{1}{3}\pi r^2 h = \frac{1}{3}\pi(-h^2 + 2h)h \\ &= \frac{\pi}{3}(-h^3 + 2h^2) \quad (0 < h < 2) \end{aligned}$$

$$(2) \frac{dV}{dh} = \frac{\pi}{3}(-3h^2 + 4h) = -\frac{\pi}{3}h(3h - 4)$$

$$\frac{dV}{dh} = 0 \text{ のとき, } h = 0, \frac{4}{3}$$

$0 < h < 2$  における増減表は右図

よって、 $V$  は  $h = \frac{4}{3}$  のとき最大値  $\frac{32}{81}\pi$  をとる



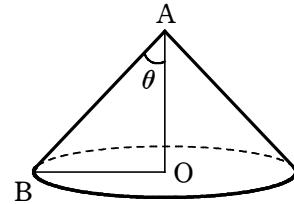
$h$	0	...	$\frac{4}{3}$	...	2
$\frac{dV}{dh}$		+	0	-	
$V$		↗	$\frac{32}{81}\pi$	↘	

例10

Aを頂点とする円錐において、Oを底面の中心、  
Bを底面の周上の点とし、AB=1,  $\angle OAB = \theta$   
(ただし、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ )とする。

この円錐の体積を、 $\cos\theta$ を用いて表すと

ア



となり、 $\cos\theta = \frac{1}{\boxed{\quad}}$ のとき最大値  $\frac{\pi}{\boxed{\quad}}$ をとる。

(解説)

$$AO = \cos\theta, BO = \sin\theta$$

よって、この円錐の体積を  $V$  とすると

$$V = \frac{1}{3}\pi \sin^2\theta \cos\theta$$

$$= \frac{\pi}{3}(1 - \cos^2\theta)\cos\theta$$

$$= \frac{\pi}{3}(-\cos^3\theta + \cos\theta)$$

$\cos\theta = x$  とおくと、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$  より  $0 < x < 1$

$$V = \frac{\pi}{3}(-x^3 + x)$$

$$\frac{dV}{dx} = \frac{\pi}{3}(-3x^2 + 1) = -\pi\left(x + \frac{\sqrt{3}}{3}\right)\left(x - \frac{\sqrt{3}}{3}\right)$$

$0 < x < 1$  における増減表は下図

$x$	0	...	$\frac{\sqrt{3}}{3}$	...	1
$\frac{dV}{dx}$		+	0	-	
$V$		↗	最大	↘	

$x = \frac{\sqrt{3}}{3}$  すなわち  $\cos\theta = \frac{\sqrt{3}}{3}$  のとき最大

最大値  $\frac{2\sqrt{3}}{27}\pi$

### 確認問題1

関数  $f(x) = x^3 - 3x^2 - 3x + 1$  について、次の問い合わせに答えよ。

- (1) 方程式  $f(x) = 0$  の実数解をすべて求めよ。
- (2)  $f(x)$  の増減、極値を調べ、 $y = f(x)$  のグラフをかけ。
- (3) 関数  $y = |f(x)|$  の  $-1 \leq x \leq 4$  における最大値を求めよ。

(解説)

(1)  $f(x) = (x+1)(x^2 - 4x + 1)$  より

$$x = -1, 2 \pm \sqrt{3}$$

(2)  $f'(x) = 3x^2 - 6x - 3 = 3(x^2 - 2x - 1)$

$f'(x) = 0$  のとき

$$x^2 - 2x - 1 = 0 \quad \therefore x = 1 \pm \sqrt{2}$$

増減表は右図

ここで、 $f(x)$  を  $f'(x)$  で割ると

$$f(x) = f'(x) \left( \frac{1}{3}x - \frac{1}{3} \right) - 4x$$

$x$	...	$1 - \sqrt{2}$	...	$1 + \sqrt{2}$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

$x = 1 - \sqrt{2}$  で極大

$$\text{極大値 } f(1 - \sqrt{2}) = -4(1 - \sqrt{2}) = -4 + 4\sqrt{2}$$

$x = 1 + \sqrt{2}$  で極小

$$\text{極小値 } f(1 + \sqrt{2}) = -4(1 + \sqrt{2}) = -4 - 4\sqrt{2}$$

よって、グラフは右図

(3)  $-1 \leq x \leq 4$  における  $y = |f(x)|$  の最大値

の候補は、 $x = -1, 1 - \sqrt{2}, 1 + \sqrt{2}, 4$  のときである

$$|f(-1)| = 0$$

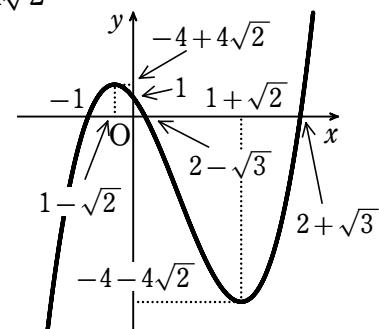
$$|f(1 + \sqrt{2})| = |-4 - 4\sqrt{2}| = 4 + 4\sqrt{2}$$

$$|f(1 - \sqrt{2})| = |-4 + 4\sqrt{2}| = 4\sqrt{2} - 4$$

$$|f(4)| = 5$$

より、 $y = |f(x)|$  は  $x = 1 + \sqrt{2}$  で最大

最大値  $4 + 4\sqrt{2}$



## 確認問題2

$\theta$  の関数  $f(\theta) = 3\sin\theta + 3\cos\theta + 3\sin\theta\cos\theta + 2\sin^3\theta + 2\cos^3\theta$  について

- (1)  $x = \sin\theta + \cos\theta$  とおくとき,  $f(\theta)$  を  $x$  の式で表せ。
- (2)  $0 \leq \theta < 2\pi$  における  $f(\theta)$  の最小値と最大値を求めよ。また, そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

(解説)

$$(1) f(\theta) = 3(\sin\theta + \cos\theta) + 3\sin\theta\cos\theta + 2(\sin^3\theta + \cos^3\theta)$$

$x = \sin\theta + \cos\theta$  より

$$x^2 = (\sin\theta + \cos\theta)^2 = 1 + 2\sin\theta\cos\theta \quad \therefore \sin\theta\cos\theta = \frac{x^2 - 1}{2}$$

また

$$\begin{aligned} \sin^3\theta + \cos^3\theta &= (\sin\theta + \cos\theta)^3 - 3\sin\theta\cos\theta(\sin\theta + \cos\theta) \\ &= x^3 - 3 \cdot \frac{x^2 - 1}{2} \cdot x = -\frac{x^3 - 3x}{2} \end{aligned}$$

よって

$$f(\theta) = 3x + 3 \cdot \frac{x^2 - 1}{2} - 2 \cdot \frac{x^3 - 3x}{2} = -x^3 + \frac{3}{2}x^2 + 6x - \frac{3}{2}$$

$$(2) x = \sin\theta + \cos\theta = \sqrt{2} \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right)$$

$$0 \leq \theta < 2\pi \text{ から } \frac{\pi}{4} \leq \theta + \frac{\pi}{4} < \frac{9}{4}\pi \text{ より}$$

$$-1 \leq \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) \leq 1 \quad \therefore -\sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2}$$

$f(\theta) = g(x)$  とおくと

$$g(x) = -x^3 + \frac{3}{2}x^2 + 6x - \frac{3}{2}$$

$$g'(x) = -3x^2 + 3x + 6 = -3(x+1)(x-2)$$

$g(x)$  の増減表は下図

$x$	$-\sqrt{2}$	...	$-1$	...	$\sqrt{2}$
$g'(x)$		-	0	+	
$g(x)$	$\frac{3}{2} - 4\sqrt{2}$	↘	-5	↗	$\frac{3}{2} + 4\sqrt{2}$

$x=\sqrt{2}$  のとき最大

$$\text{最大値 } \frac{3}{2} + 4\sqrt{2}$$

このとき

$$\sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) = 1 \quad \theta + \frac{\pi}{4} = \frac{\pi}{2} \quad \therefore \theta = \frac{\pi}{4}$$

$x=-1$  のとき最小

$$\text{最小値 } -5$$

このとき

$$\sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right) = -\frac{1}{\sqrt{2}} \quad \theta + \frac{\pi}{4} = \frac{5}{4}\pi, \quad \frac{7}{4}\pi \quad \therefore \theta = \pi, \quad \frac{3}{2}\pi$$

### 確認問題3

$x$  の関数  $f(x) = 2x^3 - 3(a+1)x^2 + 6ax$  の  $0 \leq x \leq 1$  における最大値, 最小値およびそれぞれのときの  $x$  の値を求めよ.

(解説)

$$f(x) = 2x^3 - 3(a+1)x^2 + 6ax$$

$$f'(x) = 6x^2 - 6(a+1)x + 6a = 6(x-a)(x-1)$$

$a=1$  のとき,  $f'(x) \geq 0$  より  $f(x)$  は単調増加

$a < 1$  のとき

$a > 1$  のとき

$x$	...	$a$	...	1	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

$x$	...	1	...	$a$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

最大値

$a < 0$  のとき,  $x=1$  で最大 最大値  $f(0)=0$

$0 \leq a \leq 1$  のとき,  $x=a$  で最大 最大値  $f(a) = -a^3 + 3a^2$

$a > 1$  のとき,  $x=1$  で最大 最大値  $f(1)=3a-1$

最小値

$$f(0)=f(1) \text{ となるとき, } 0=3a-1 \quad \therefore a=\frac{1}{3}$$

$a > \frac{1}{3}$  のとき,  $f(0) < f(1)$ ,  $a < \frac{1}{3}$  のとき,  $f(0) > f(1)$  に注意して

$a < \frac{1}{3}$  のとき,  $x=1$  で最小 最小値  $f(1)=3a-1$

$a = \frac{1}{3}$  のとき,  $x=0, 1$  で最小 最小値 0

$a > \frac{1}{3}$  のとき,  $x=0$  で最小 最小値  $f(0)=0$

#### 確認問題4

$a$  は定数とする. 関数  $f(x) = x^3 + 3x^2 - 6ax + 1$  の  $-1 \leq x \leq 1$  における最小値を求めよ.

(解説)

$$f'(x) = 3x^2 + 6x - 6a = 3(x^2 + 2x - 2a)$$

$f'(x) = 0$  のとき

$$x^2 + 2x - 2a = 0 \cdots ①$$

判別式を  $D$  とすると,

$D \leq 0$  のとき

$$\frac{D}{4} = 1 + 2a \leq 0 \quad \therefore a \leq -\frac{1}{2}$$

このとき,  $f'(x) \geq 0$  となり  $f(x)$  は単調増加

$x = -1$  のとき最小 最小値  $f(-1) = 6a + 3$

$D > 0$ , すなわち  $a > -\frac{1}{2}$  のとき, ①は異なる 2 実解をもち

$$x = -1 \pm \sqrt{1 + 2a}$$

$y = f(x)$  は点  $(-1, f(-1))$  の関して対称で

$x = -1 - \sqrt{1 + 2a}$  のとき極大,  $x = -1 + \sqrt{1 + 2a}$  のとき極小となる

$-1 + \sqrt{1 + 2a} < 1$  のとき

$$\sqrt{2a + 1} < 2 \quad \therefore -\frac{1}{2} < a < \frac{3}{2}$$

このとき,  $x = -1 + \sqrt{1 + 2a}$  で最小

$$f(x) = (x^2 + 2x - 2a)(x + 1) - 2(2a + 1)x + (2a + 1) \text{ より}$$

$$\begin{aligned} \text{最小値 } f(-1 + \sqrt{1 + 2a}) &= -2(2a + 1)(-1 + \sqrt{1 + 2a}) + (2a + 1) \\ &= 3(2a + 1) - 2\sqrt{(2a + 1)^3} \end{aligned}$$

$-1 + \sqrt{1 + 2a} < 1$ , すなわち,  $a \geq \frac{3}{2}$  のとき

$x = 1$  で最小

$$\text{最小値 } f(1) = -6a + 5$$

確認問題5

- (1) 縦と横の長さの和が一定である長方形のうちでは、正方形が面積最大であることを示せ。
- (2) 上の結果を参考にして、縦の長さ、横の長さ、高さの和が一定である直方体のうちでは、立方体が体積最大であることを示せ。

解説

(1) 縦、横の長さをそれぞれ  $x, y$  とし、 $x+y=l$  (一定) とする  
 $x>0, y>0$  であるから、相加相乗平均より

$$\frac{x+y}{2} \geq \sqrt{xy} \quad \therefore xy \leq \frac{l^2}{4}$$

等号成立は  $x=y$  のとき

よって、面積  $xy$  は  $x=y$ 、すなわち、正方形のとき最大である

別解  $xy = x(l-x) = -\left(x - \frac{l}{2}\right)^2 + \frac{l^2}{4}$  として解いてもよい

(2) 縦、横、高さをそれぞれ  $x, y, z$  とし、 $x+y+z=k$  (一定) とする  
 $x>0, y>0, z>0$  であり、 $z$  を固定して、 $x+y=k-z$  (一定)

このとき、 $k-z>0$  より、 $0<z< k$

(1)より、 $xy$  は  $x=y$  のとき最大値  $\frac{(k-z)^2}{4}$  をとる

$$z>0 \text{ より, } xyz \leq \frac{(k-z)^2}{4} z$$

$$f(z) = \frac{1}{4}z(k-z)^2 = \frac{1}{4}(z^3 - 2kz^2 + k^2z), 0 < z < k \text{ とおく}$$

$$f'(z) = \frac{1}{4}(3z^2 - 4kz + k^2) = \frac{1}{4}(z-k)(3z-k)$$

$f(z)$  は  $z=\frac{k}{3}$  のとき 最大値をとる

このとき  $x=y, x+y=\frac{2}{3}k$  より、 $x=y=z=\frac{k}{3}$

すなわち、立方体が体積最大である

### 確認問題6

中心  $O$ , 半径 1 の球面上の 4 点  $A, B, C, D$  を頂点とする四面体において, 三角形  $BCD$  は正三角形であるとする。また, 三角形  $BCD$  の重心  $G$  と  $O$  との距離を  $x$ , 四面体  $ABCD$  の体積を  $V$  とおく。

- (1) 三角形  $BCD$  の面積を  $x$  で表せ。
- (2)  $x = \frac{1}{2}$  のとき,  $V$  の最大値を求めよ。
- (3)  $V$  の最大値を求めよ。

解説

(1) 球の対称性より,  $O$  から  $\triangle BCD$  に下した垂線の足は  $G$  であるから

$$BG = \sqrt{1-x^2}, \quad BC = \sqrt{3} \quad BG = \sqrt{3(1-x^2)}$$

よって,  $\triangle BCD$  の面積  $S$  は

$$S = \frac{1}{2} \cdot (\sqrt{3(1-x^2)})^2 \cdot \sin 60^\circ = \frac{3\sqrt{3}}{4}(1-x^2)$$

(2)  $V$  が最大となるのは,

$\triangle BCD$  を底面ととして, 高さが最大となるときである

高さが最大となるのは,  $A$  が直線  $OG$  と球の交点のうち,  $O$  に関して  $G$  と逆側にあるときである

このとき,

$$V = \frac{1}{3} \cdot \frac{3\sqrt{3}}{4} \cdot \frac{3}{4} \cdot \frac{3}{2} = \frac{9\sqrt{3}}{32}$$

(3)  $0 \leq x < 1$  を満たす  $x$  に対して,  $V$  の最大値は

$$V = \frac{1}{3} \cdot \frac{3\sqrt{3}}{4} (1-x^2) \cdot (1+x) = \frac{\sqrt{3}}{4} (-x^3 - x^2 + x + 1)$$

$f(x) = -x^3 - x^2 + x + 1$  とすると

$$f'(x) = -3x^2 - 2x + 1 = -(x+1)(3x-1)$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき, } x = -1, \frac{1}{3}$$

増減表は下図

$x$	0	...	$\frac{1}{3}$	...	1
$f'(x)$		+	0	-	
$f(x)$		↗	極大	↘	

$x = \frac{1}{3}$  のとき最大

$$\text{最大値 } f\left(\frac{1}{3}\right) = -\frac{1}{27} - \frac{1}{9} + \frac{1}{3} + 1 = \frac{32}{27}$$

よって、 $V$  の最大値は

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{32}{27} = \frac{8\sqrt{3}}{27}$$